

あさおの福祉

ほほえみ

第84号

編集・発行

川崎市麻生区社会福祉協議会

〒215-0004 麻生区万福寺1-2-2

新百合21ビル1F 福祉パルあさお内

発行人：山本 浩真 編集：広報啓発委員会

TEL 952-5500 FAX 952-1424

URL www.kawasaki-shakyo.jp/asao/

mail asaoku@csww-kawasaki.or.jp



麻生区社協
キューちゃん



麻生区社協

検索

令和6年度 麻生区社会福祉協議会賛助会費 中間報告

～みんなでささえる みんなのふくし～

地域の皆さまからの温かいご協力ありがとうございます！

中間実績額 **2,811,900 円** (令和6年5月31日現在)

地域の皆様、また、賛助会員募集にご協力いただいた町会・自治会をはじめとした関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

賛助会費は5月末時点でとりまとめを行い、地区社会福祉協議会への助成をはじめとした、令和6年度の地域福祉活動に活用されます。

引き続き、賛助会員の募集、受付を行っております。

賛助会費は、身近な地域福祉活動をささえる大切な資金です。

ご協力をどうぞよろしく申し上げます。

賛助会員を募集しています。詳しくはホームページへ



みんなでささえる
みんなのふくし



賛助会費の、7割は、地域でお住まいの方々に組織している、地区社会福祉協議会の活動費になっております。

麻生東地区社会福祉協議会 事業紹介 ～思い出映画館～

懐かしい映画の上映会「思い出映画館」を実施しています。参加者からは「懐かしい」「若返った」等の感想をいただき好評です。

令和5年度は麻生老人福祉センターで「青い山脈」が上映されました。観客の77歳の女性の方は、この映画のエピソードのシーンが観たくて来たそうです。「小百合さんと同世代でファンです」と笑顔で話されました。



柿生地区社会福祉協議会 事業紹介 ～ふれあい合唱コンサート～

障がいの有無にかかわらず、地域にお住まいの子どもからお年寄りまで、全ての方に音楽を楽しんでいただくとともに、地域におけるノーマライゼーションに一人でも多くの方に興味を持ってもらい、誰もが安心して過ごせる地域環境作りに寄与することを目的として、「ふれあい合唱コンサート」を4年ぶりに開催しました。当日は400名を超える参加者の皆さんと一緒に音楽を楽しみ、大盛況となりました。



あなたも資金面から、地域の活動に参加しませんか？

賛助会員は、麻生区社会福祉協議会及び麻生東地区社会福祉協議会、柿生地区社会福祉協議会の活動の趣旨に賛同いただき、資金面から支えていただく方々のことです。2月を中心に、町会・自治会のご協力をいただき、賛助会員の募集を行っておりますが、麻生区社会福祉協議会窓口でも随時、受け付けております。ご協力をどうぞよろしく申し上げます。 ※町会等に所属していない個人の方も窓口で随時受け付けております。

賛助会費 **1口 1,000円** 電話 **044-952-5500**
(何口でもご加入いただけます)

社会福祉協議会とは。

社会福祉法第109条、110条、111条に規定され、地域福祉を推進する中核的な団体として、全国・都道府県・市区町村のそれぞれに設置されている民間団体です。通称「社協」と言います。

～社会福祉協議会の目的と特徴～

社協は、地域が抱えるさまざまな福祉の問題をみんなの問題として考え、話し合い、計画を立て解決にあたります。(これを「地域福祉」と言います) だれもが安心して暮らせる地域をつくることを目指して地域福祉活動を進めることが社協の目的です。

お友達募集中！
麻生区の地域福祉活動の情報をお届けしています！

麻生区社会福祉協議会
LINE 公式アカウント
@996WXXSS



麻生区社協
キャラクター
キューちゃん

* 麻生区社会福祉協議会からのご報告 *

* 令和5年度麻生区社会福祉協議会 事業報告・決算報告 *

麻生区社会福祉協議会ホームページに掲載しております。ぜひご覧ください。



(共同募金配分金を含む) 総合事業



* 子育て支援委員会からのご報告 *

★ペアレントトレーニング講座を実施しました……

未就学児の親御さんを対象とした「子育て中のイライラがなぜ起こるのか……」を解決する講座を、計4回開催いたしました。ペアレントトレーニングは10年ほど前から実施しており、大変人気の講座となっています。ロールプレイを通じて子どもの気持ちや発達を学べる楽しい講座です。



参加者の声

- 同じ思いを抱えているママが多くて、一人じゃないと感じられた。
- 以前にも受けたが再び受けても新しい発見がある。子どもの年齢も上がり、状況も変わっている為、ありがたい。
- ワークで自分を知ることができてよかったです。

★子育て支援講演会『学校についての子どもへの問いにどうこたえよう?』を開催しました

令和6年2月6日小学生のお子さんを持つ親御さんを対象に、子どもとの関係性について考え、今後の子育てに活かすことを目的に開催し、13名の方にご参加いただきました。石井栄子氏を講師に迎え、日頃の子どもの関わり、子育てを振り返りながら、小学生の身体的・精神的・脳科学的な発達を踏まえた上で、親子間の距離感を見直し、今後の子どもとの付き合い方について具体的に学ぶ機会となりました。



参加者の声

- 毎日の子どもとのかかわりのヒントがたくさんもらえました。
- 具体的な話の仕方やタイプについてのお話も参考になりました。
- 普段悩んでいることについてのお話が聞けたことで少し気持ちが軽くなったように思います。

子育て支援委員会では、地域で安心して子育てができる環境づくりを目指し、子育ての悩みや課題解決のための講座や交流会を企画・実施して参ります。令和6年度も随時、情報を発信して参りますのでご興味のある方は、是非ご参加ください。

* 在宅福祉サービス委員会からのご報告 *

在宅福祉サービス委員会では、令和6年2月29日に地域でともに生きるを考える懇談会としてヤングケアラーをテーマに懇談会を開催しました。講師は一般社団法人日本ケアラー連盟の中嶋圭子氏をお招きし、民生委員・児童委員の他、町会、学校関係者等総勢53名の方が参加されました。講演後、参加者からは「ヤングケアラーは見えにくい、その背景にはSOSを出しにくい社会環境がある。私たちはどのように支援していくかを考えさせる内容であった」等の感想が寄せられました。在宅福祉サービス委員会では今後も日頃からお互いに支えあうことのできる地域づくり、「地域で共に生きる」ことについて考える機会とすることを目的として、「みんなでささえあう、暮らしやすいまちづくり」の実現に向けて「地域」をテーマに講演会や懇談会を実施し、ささえあい助けあうことのできる地域共生社会を目指していきたくて考えています。



懇談会の様子

* 福祉教育推進委員会からのご報告 *

“ともに生きる”を考えるあさおのふくし

麻生区社会福祉協議会では福祉教育推進のため、麻生区内の福祉施設、障害のある方などの当事者団体、福祉活動に携わるボランティアグループ等にご協力いただき、地域全体で福祉教育に取り組めるネットワーク作りや、地域内の社会資源と福祉教育を結びつけるためのコーディネートをしています。

令和5年度福祉教育申し込みに関する相談・紹介・調整実績

申込件数 **31**件(延べ件数)(内訳:小学校26件、一般5件)
本申込を通じて話を聞いた方・体験した方 2,815人(延べ人数)

* 共同募金会川崎市麻生区支会からのお知らせ *

赤い羽根共同募金・年末たすけあい募金へ皆様のあたたかいご協力ありがとうございます。



赤い羽根共同募金

麻生区でご協力いただいた「赤い羽根共同募金」は、神奈川県共同募金会にてとりまとめられ、令和6年度の麻生区内及び神奈川県内の地域福祉をすすめる団体や、民間福祉活動を推進する団体に活用されます。

年末たすけあい募金

麻生区内でご協力いただいた「年末たすけあい募金」は、全て麻生区内の地域福祉をすすめる事業に活用されています。民生委員児童委員の皆さまのご協力により、区内の福祉ニーズを持つ世帯へ「年末見舞金」の配布や麻生区社会福祉協議会を通じて、令和6年度の様々な地域福祉活動の推進に役立てられます。

区内の駅頭で街頭募金を実施しました。



共同募金のPRを含め、地区社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、ボランティアグループ、障害者等当事者団体、ガールスカウト、田園調布学園大学等多くの団体にご協力をいただき、小田急線7駅(百合丘、新百合ヶ丘、柿生、五月台、栗平、黒川、はるひ野)の各駅頭において、延べ38団体から294人の方にご協力をいただき、498,720円の募金が集まりました。街頭募金へのご協力ありがとうございました。

イベント募金

10月9日にあさお区民まつりにてイベント募金を実施しました。24,885円の募金が集まりました。イベント募金へのご協力ありがとうございました。



令和5年度 赤い羽根共同募金・年末たすけあい募金 実績報告		
区分	赤い羽根共同募金	年末たすけあい募金
戸別募金	4,490,821円	4,809,657円
街頭募金	498,720円	0円
法人募金	511,000円	0円
校内募金	338,953円	0円
職域・その他募金	327,738円	0円
イベント募金	24,885円	0円

令和6年3月末日現在

* 令和5年度 ご寄付ありがとうございました。 *

令和5年4月1日～令和6年3月31日

寄附金額 **2,280,594 円** (寄託品で決算上金銭換算したものを除く)

氏名・団体名 (順不同)	氏名・団体名 (順不同)	氏名・団体名 (順不同)
1 坂水 康子	5 イトヨーカドー労働組合新百合ヶ丘支部	10 川崎百合ライオンズクラブ
2 東急リゾート&ステイ・石勝エクステリア共同事業体 川崎国際生田緑地ゴルフ場	6 安藤 美恵子	11 匿名 (5件)
3 枯棋会・金曜会	7 学校法人桐光学園	
4 セレサかわさき農業協同組合	8 藤・手工芸ふきのとう	
	9 山本 和代	



* 麻生区社会福祉協議会からのお知らせ *

* 麻生区内老人いこいの家 *

「地域公開講座」を
麻生区内いこいの家で開催します！

テーマに関心のある方であれば、年齢に関係なく、どなたでも参加することができます。

今年度のテーマは「ストレスとのつきあい方」「自分の思いをうまく伝える方法」です。講座を通し、いきいきと元気に過ごすためのヒントをみつけてみませんか？

ぜひ、お近くのいこいの家でお気軽にお申し込みください！

講座内容 ①ストレスとのつきあい方
②アサーティブ・コミュニケーション ～自分の考えや思いをうまく伝える方法～
施設によって講座内容が異なります (下記一覧参照)

講師 新百合ヶ丘総合病院 精神看護専門看護師 中嶋 須磨子 氏

日時 施設ごとに異なります (下記一覧参照)

対象 市内在住の方 ※この講座は利用年齢制限のない公開講座です

定員 各館30名 (先着順)

申し込み方法 直接いこいの家へお申し込みください

受付期間 施設ごとに異なります (下記一覧参照)

テーマ	施設	電話番号	開催日	時間	受付期間
テーマ① ストレスとのつきあい方	王禅寺いこいの家 (王禅寺東 5-32-15)	989-0401	10月12日(土)	午後2時～3時	令和6年8月20日(火)～9月20日(金)
	千代ヶ丘いこいの家 (千代ヶ丘 6-3-22)	955-0412	11月16日(土)		令和6年9月25日(水)～10月25日(金)
	片平いこいの家 (片平 5-25-1)	987-3878	12月14日(土)		令和6年10月22日(火)～11月22日(金)
	岡上いこいの家 (岡上 3-13-1)	986-0184	令和7年2月1日(土)		令和6年12月17日(火)～令和7年1月17日(金)
テーマ② アサーティブ・コミュニケーション ～自分の考えや思いをうまく伝える方法～	百合丘いこいの家 (百合丘 2-8-2)	966-2631	9月14日(土)		令和6年7月23日(火)～8月23日(金)
	白山いこいの家 (白山 4-2-2)	988-8767	令和7年1月25日(土)		令和6年12月10日(火)～令和7年1月10日(金)
	麻生いこいの家 (上麻生 4-32-2)	953-9870	令和7年3月15日(土)		令和7年1月24日(金)～2月25日(火)

* 令和6年(2024)度事業計画 *

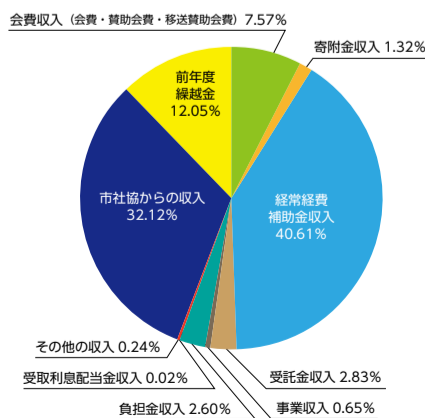
重点事業

1. “他人ごと” から “自分ごと” そして、“みんなごと” へ ～福祉がより身近になる広報・啓発
2. 住民の困りごとを受け止め、予防と解決に向けた小地域福祉活動の支援
3. 「共に生きる」地域づくり・場づくり ～誰もが参加できるボランティア活動の推進

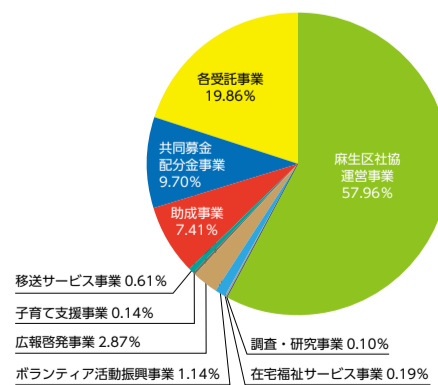


令和6年度 歳入合計 93,022,000 円

令和6年度 歳出合計 93,022,000 円



会費収入 (会費・賛助会費・移送賛助会費)	7,038
寄附金収入	1,232
経常経費補助金収入	37,774
受託金収入	2,633
事業収入	600
負担金収入	2,414
受取利息配当金収入	20
その他の収入	225
市社協からの収入	29,880
前年度繰越金	11,206
合計	93,022



麻生区社協運営事業	51,028
調査・研究事業	97
在宅福祉サービス事業	169
ボランティア活動振興事業	1,003
広報啓発事業	2,524
子育て支援事業	120
移送サービス事業	540
助成事業	6,525
共同募金配分金事業	8,544
各受託事業	17,488
その他の活動による支出	4,984
合計	93,022

麻生区社協
ボランティア
活動振興センター

ぼらぼら

第50号

ボランティア活動振興センターからのご報告



★令和5年度ボランティア講座「食でつながる！ボランティア講座」を開催しました

令和6年3月6日、3月13日の2日間にわたり、麻生区ボランティア活動振興センター主催「食でつながる！ボランティア講座」を開催いたしました。

1日目は麻生区役所地域支援課の七原里穂子氏、ふらっと新百合ヶ丘代表の中村ふみよ氏をお招きし、講義をしていただきました。

七原氏の講義では、『「食の大切さ」について』というテーマで、食生活がもたらす影響について、旬の野菜を摂取することのメリットについてなどをわかりやすくお話いただきました。10年間野菜の摂取量が目標値より少なく(国立健康・栄養研究所データ)、その状態が改善されていないという現状を踏まえ、日頃から主食・主菜・副菜がそろったバランスの良い食事を摂ることが大切で、食生活が生活習慣病の予防や心身機能の維持に大きく影響すると教えていただきました。

また、講座内では麻生区で農業をされている農家さんへの事前インタビューをもとに、都市で農業をやる良さや大変さ、新鮮な野菜を食生活に取り入れることの良さを参加者の皆様にお伝えしました。

中村氏の講義では、沢山の写真とともに、ふらっと新百合ヶ丘で日頃どのような活動をしているのかをご紹介いただきました。子ども食堂としてふらっと新百合ヶ丘に集まった子どもたちに食事を提供するのはもちろんのこと、「農育」や「食育」をテーマに地元の農家さんと一緒に野菜に触れる活動や畑の片付けのお手伝い、出汁当てゲーム(飲み比べ)、朝市での野菜販売などの幅広い活動をされており、居場所づくりの重要性について教えていただきました。

1日目の最後には、七原氏、中村氏の講義を受けて、自分なら麻生区にどんな居場所を



講座の様子

作りたいかを参加者と一緒に検討しました。

2日目は、実際にふらっと新百合ヶ丘に行き、活動の体験を行いました。まずは大学生が考案した郷土料理のカードを集めるすごろくゲームに参加しました。都道府県のマスに止まると、その場所の郷土料理や特産品が描かれたカードをもらうことができ、地域の特色について学ぶことが出来ました。次に、地元の農家さんからご提供いただいた野菜(のらぼう菜、あやめ雪かぶ、ほうれん草、大根)の葉の食べ比べを行い、どの野菜の葉なのかをグループで話し合い、最後に発表を行いました。全種類正解のグループもあり、大変盛り上がりました。



すごろくゲームの様子



野菜の葉の食べ比べ

参加者からは「多くの学びがありました。」「若い時期からバランスの良い食事を摂ることの大切さを若い人にどんどん伝えたい。」「大学生が作ってくれたすばらしいゲームに楽しさを子どもたちと共有できたことは大変良い経験をさせていただきました。」などの感想をいただきました。

麻生区社会福祉協議会ボランティア活動振興センターでは、今後もボランティア活動に参加するきっかけづくりや様々な活動を知っていただける機会をつくっていきます。

今回の講座で行ったような麻生区の特徴を活かした居場所づくりに関心のある方、ボランティア活動に興味のある方はぜひご参加ください。

第35回 あさお福祉まつりを

開催いたします!



日時 令和6年11月10日(日)
10:00~14:00

場所 麻生区役所・麻生市民館周辺

*皆様お誘い合わせの上お越し下さい。
詳細については随時ホームページや次号広報紙等でお知らせいたします♪

